



天文台だより

銀河の森天文台
2007 春号
Vol. 35

マックノート彗星を観測!!

1月12日~14日の3日間、マックノート彗星(C/2006 P1)の観測に成功しました。マックノート彗星は、昨年8月7日にオーストラリアのマックノート氏(Robert H. McNaught)によって発見され、今年に入って1等級まで明るくなり肉眼彗星として話題になっていました。12日は日没後すぐに西南西の空、高度約4度のところに肉眼で彗星を確認でき、明るさは-2等級ととても明るく、尾までしっかりと見えました。マックノート彗星はその後南半球へと移動し、世紀の大彗星となりました。あまりに大きく成長したため長い尾の一部が北半球の日本からも観測することができました。下の写真の縦に筋状に写っているのが彗星の尾の一部です。

2007年1月12日 16:41 (JST)
600mm F5.6 ISO200
露出:1/20s 9枚コンポジット
CANON EOS10D

2007年1月21日 18:09 (JST)
50mm F2.8 ISO800
露出:60s 10枚コンポジット
CANON EOS5D



館長コラム「地球はどっちに動いている？」

「それでも地球は動いている。」ガリレオが宗教裁判でつぶやいた有名な言葉です。物が動くときには方向があります。では地球はどっちに動いているか指差せますか。ガリレオは多分知っていたのですよ。答はこうです。太陽が1年かけて天空を横切る道が黄道です。黄道はまた地球の公転軌道面です。だから地球の動く方向は黄道に沿った1点です。地球の太陽を回る軌道はほぼ円です。円軌道だと動く方向は太陽から直角だけ離れた方向です。黄道上にあって太陽から90度離れた方向は西と東の地平線上に二つあります。北を上にして地球は反時計周りに回っています。正午に太陽が真南にあるときを考えて下さい。西の地平線上の点が地球の動く方向、東の点は遠ざかる方向です。紙数が尽きました。後はこの関係を保って地球は24時間で自転するので。今何時かな。地球がどっちに動いているか考えて指差して下さい。



(山下館長)

春も土星が見頃です!



大型望遠鏡で土星を見ると、美しい輪がはっきりと確認できます。デジタルカメラやカメラ付き携帯でも簡単に土星を撮影できます。是非、ご来館下さい。

☆星のトリビア「ナンバーワン彗星」

今年話題となったマックノート彗星(C/2006 P1)は、最大光度で-5等級まで明るくなりました。これは、金星と比較しても2倍以上の明るさです。青空の中にマックノート彗星を観測できた人がいたのも肯げます。ところで、この-5等級という明るさは、過去72年間の彗星観測データの中では2番目の明るさになります。となると一番が気になりますが、栄えある一番明るくなった彗星は、1965年9月18日未明、日本人の池谷薫(いけや かおる)氏と関勉(せき つとむ)氏が独立に発見した池谷・関彗星(C/1965 S1)なのです!この彗星の最大光度は、-10等級以上になったということです。5等級の差はちょうど100倍の明るさの差ですから、まさに桁違いの大彗星でした。一番が日本人の発見した彗星というのはちょっとうれしいですね。(村)

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月 1日	5:05	17:54	13.0	16:27	4:28
4月 15日	4:41	18:10	27.0	3:24	15:21
5月 1日	4:16	18:29	13.6	17:26	3:26
5月 15日	3:58	18:45	27.6	2:32	16:58
6月 1日	3:44	19:02	15.3	19:37	3:15
6月 15日	3:40	19:11	29.3	2:59	19:47

天文行事&暦

4月

- 3 ○満月
- 5 清明(24節気:太陽黄経15°)
- 17 ●新月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 23 こと座流星群が極大
(AM1時 最大15個/時)
- 25-5/6 町民無料観望会
- 25-5/6 金星・土星観望会
- 30 天文台特別開館

5月

- 4/25-5/6 町民無料観望会
- 4/25-5/6 金星・土星観望会
- 1 天文台特別開館
- 2 ○満月
- 6 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 14-25 天文台メンテナンス休館
- 17 ●新月
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)

6月

- 1 ○満月
- 2 水星が東方最大離角
(光度:+0.5等, 離角:23° 22')
- 6 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 6 木星が衝
(光度:-2.6等, 視直径:42.8")
- 9 金星が東方最大離角
(光度:-4.3等, 離角:45° 23')
- 15 ●新月
- 22 夏至(24節気:太陽黄経90°)
- 30 ○満月

春のイベント情報 !!

☆金星・土星観望会

この時期、金星・土星が見頃です。明るく眩しい金星、美しい土星の輪を是非観望して下さい。

開催日時: 4月25日(水)~5月6日(日)

説明会: 午後7時から(土曜・日曜・祝日・休日のみ)

☆親子星空天文教室 - 望遠鏡の使い方講習会 -

家族連れなど一般の方を対象に望遠鏡の使い方、天体の見方を説明します。望遠鏡をお持ちの方は、是非ご自分の望遠鏡を持参の上ご参加下さい。

開催日時: 6月23日(土)

講習会: 午後7時から

☆町民無料観望会

4月25日(水)~5月6日(日)の期間、陸別町民の皆さんへ天文台の無料開放を行います。団体、サークル活動の一環としての来館も是非どうぞ。

売店からのお知らせ - 「おでん缶」が登場! -

昨年11月から、売店の新商品として「おでん缶」を販売しています。これは文字通り「おでんの缶詰」で、東京都の秋葉原ではすでに大人気商品となっています。缶詰の中にはだしのしっかりしみこんだ、大根やこんにゃくなど8種類の具が入っており、ボリュームは満点です! 売店で常時温めて販売していますので、星を見て冷えてしまった体を温めるために最適の一品です。天文台で星を見た感動とあたたかいおでん缶で心とお腹を満たしませんか? ぜひ一度ご賞味あれ!!



南半球で急成長した
マックノート彗星
(C/2006 P1)

©Robert McNaught/U ARIZONA/
ANU/NASA/SCIENCE PHOTO
LIBRARY/PPS

「天文茶話」-世紀の大彗星?-

表紙でも取り上げた世紀の大彗星、マックノート彗星(C/2006 P1)が今年はじめ南半球を中心に観測されたことはご存知でしたか。はじめのうち日本でも観測されたこの彗星はやがて南半球へと移動し、その後化け物のように大きく成長したことは天文の世界ではずいぶんと大きな話題になりました。

しかし大彗星へと変貌を遂げた後の話題は国内の新聞やテレビなどではほとんど取り上げられることがなかったため、それほどすごい彗星だったことを知る人は意外に少ないようです。世紀の大彗星にもかかわらず世間であまり話題にも上らず、多くのニュースに埋もれてしまったことは天文屋としてはとても寂しい気がします。

何かと暗いニュースの多い今のご時勢だからこそ、こうした夢のある話題をもっと大きく取り上げてもらいたいものです。
(寛)

天文台からのお知らせ

- ☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。
(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)
- ☆ 4月30日、5月1日は、月曜日・火曜日ですが特別開館します。
- ☆ 5月14日(月)~25日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp